

## <草加市 様>

上映日:2025年09月13日(土) 場所:草加市立中央公民館(埼玉県草加市)



## 市として伝えたいメッセージが伝わり、映画と作品の力を感しました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

認知症月間に伴うイベントにおいて、認知症の方やご家族への理解を多世代へ広げ、共生のまちづくりを目指すため。また、認知症や介護に直面する前に、関係する情報に触れてもらう機会を作るためです。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

認知症地域支援推進員及び市職員です。

●資金はどのように捻出しましたか？

市の財源です。

●地域へどのように告知をしましたか？

チラシ配布、メールサービス、ホームページなどです。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

とても満足・やや満足が9割以上でした。「我が事として考えるきっかけになった」「やさしいまちになったらいい」などの言葉がアンケートで見られ、市として伝えたいメッセージが伝わったと感じられました。紙媒体は自ら読まないという理解が深まりにくいものであるとおもうので、映像から自然と理解へ促すことができる、映画と作品の力を感しました。

アンケートの中で、「作品をもっと若い方に見てもらいたい」という声があったことが印象に残っています。認知症＝高齢者のもののイメージが強く、自分には関係ないことと思われてしまったり、ネガティブなイメージから避けがちな内容だったりと、映画を含む月間イベントについて、高齢者だけでなく、子どもから若者や子育て世代まで、多世代の方が参加できるものを目指して開催してきました。

実際には、多世代に向けた周知は難しく、高齢者の来場がほとんどではありませんが、作品の選定の方向性にズレがなく、若い人にも見てもらいたい・知ってもらいたいと市民が感じてくれたことが分かり、担当として良かったと思っています。今後も多くの方の参加や協力が得られるよう、励んで行きたいと思えます。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

リアルさもあつつつ、リアルすぎず、最新には希望が残るようなストーリーで、多くの人に見ていただきたくなる作品です。

ご担当者:小池さん